

織田小・萩野小の再編についての地区懇談会（織田小学校区）
結果概要

- 開催日：令和6年11月14日（木）午後7時00分～7時45分
- 場 所：織田コミュニティセンター 1階多目的ホール
- 参加者：保護者6名 一般住民12名 合計18名
- 事務局：教育長、教育委員会事務局長、教育政策推進室長、教育政策推進室員3名
学校関係者4名
- 内 容：小学校の再編についての意見交換
- ・越前町小中学校再編に係る経過等について
 - ・学校の基本的事項（校名、校章、校歌）について

主な意見と回答

（参加者）現在の児童人数を教えてください。

⇒（教委）令和6年度6月1日現在、織田小学校は119名、萩野小学校は49名になる。

（参加者）現在の萩野小学校の1年生～6年生の人数と、来年度以降の入学者数を教えてください。

⇒（教委）令和6年度の萩野小学校の学年ごとの人数は、1年生6名、2年生8名、3年生8名、4年生7名、5年生7名、6年生13名で計39名である、入学者数として、令和7年度は3名入学して計39名、令和8年度は8名入学して計40名、令和9年度は5名入学して計38名、令和10年度は6名入学して計36名、令和11年度は4名入学して計32名、現時点ではここまでを見込んでいる。

（参加者）両校の再編により1学年につき2クラスになるのか。

⇒（教委）現時点では2クラスになる予定はない。

（参加者）再編後、在校生を含め制服等はどうなるのか。

⇒（教委）学用品については、準備部会のPTA部会で協議することになる。在校生は、現在のものをそのまま使用することを想定しており、新入生については、今後どのようにしていくのか、両校のPTA役員や校長先生、教頭先生と検討していく。

（参加者）来年度、萩野小学校への入学予定者について、再編を見越して織田小学校に令和7年度から入学したいという希望があった場合、その対応は可能かどうかお伺いしたい。

⇒（教委）校区の指定、ルールがあり、萩野地区の児童が織田小学校に入学することは原則出来ない。

（参加者）再編後、校章や校歌は織田小学校のものを使用することだが、萩野小学校のそれらはどうなるのか。織田小学校に移転してどこかに掲示したりする予定はないのか。

⇒（教委）現時点では移転計画等はなく、校章や校歌などの歴史的資料の保存については、準備部会や準備委員会で検討することになる。現時点では決まっていないが、萩野小学校の跡地利用の状況によってもその保存方法が変わると思うので、そのことも加味したうえで決定したい。

（参加者）昨日の萩野小学校区の懇談会では、どのような意見が出たのか。

⇒（教委）校名について、「萩野」の名前を残したく、「織田萩野小学校」はどうかという提案が一件あったが、校章、校歌については特に意見が無かった。全体として、校名、校章、校歌といった学校の基本的事項は、織田小学校のものを引き継ぐということを理解していただいた、ということで事務局としては受け止めている。またそれ以外に、「児童数の推移」「通学方法」「萩野児童クラブ」「跡地利用」「制服や体操服などの学用品」などの事項について意見があった。

（参加者）再編後、児童が安心して学校生活が送れるように、現在萩野小学校で勤務している教員を織田小学校に異動できるように要望したい。

⇒（教委）学校が変わる萩野小学校の児童のことを第一に考えて再編を進めることが大切だと思っており、最優先事項として実現を図っていききたい。

（参加者）町の学校再編の全体計画として、町内の小学校を4つにするということで取り組んでいると思うが、その先のことについては何か考えはあるのか。

⇒（教委）令和3年度に作成した小中学校再編基本方針（案）に基づき再編を進めており、そこでは小学校は各地区に一つという計画になっている。そのあとのことは、現時点ではまだ検討していない。

（参加者）両校が再編して児童数が増えるということは、教員数も増えるのか。

⇒（教委）教員数は各学校の学級数で定数が決まっており、加えて、各市町が独自の予算で講師や支援員を配置している。再編後も学級数が増えるわけでは無いので、例えば、萩野小学校の教員がそのまま織田小学校に異動する、というようなことはない。しかし、再編開始の初年度は、いろんな面で気を配ることも多いと思われ、できる限り支援員等の配置についてしっかり検討したい。

（参加者）制服や体操服について、新しい学校になるという意味でも一新した方が良いのではないかと。萩野小学校の児童が織田小学校に来た時に、服装の違いなどで比較されるようなことが無いのか心配。無償で制服等を買換えるなど、そのようなことは考えていないのか。

⇒（教委）学用品については、PTA 部会で決定していくことになる。また、現時点でも両校児童の交流活動を定期的に行い、来年度は更にその回数を増やす予定をしている。再編開始時期には、両校児童の心が触れ合っているような形を目指し、特に萩野小学校の児童にとって不安が無いように取り組んでいくので、ご理解をお願いしたい。

（参加者）新しい環境に入ると多少なりともトラブル等が発生すると思う。子どもたちのケアやサポート面について考えていることはあるのか、お伺いしたい。

⇒（教委）当然、子どもたちなりに悩みや我慢していることはあり、しっかりそれを吐き出し、学校側はそれをキャッチし、対応していくことが必要だ。各小学校でも、既に教育相談という形で定期的を実施しており、再編後もそれを引継ぎつつ、充実していくことも考えていかなければならない。

⇒（学校関係者）織田小学校では、月1回アンケートを行い、子どもたちが困っていることや悩んでいることについて聞き取りを行っている。そのあと、担任と1対1で面談を行い、解決に向けて取り組んでいる。各担任も、児童をしっかり見て、普段と様子が違う子には声掛けも行っている。気づかないこともあるため、その際にはご家庭から学校に連絡をいただきたい。この取組は今後も続けていきたい。

（教委）両校の再編にあたり、校名、校章、校歌といった学校の基本的事項について、資料提示のとおり「織田小学校のものを引き継ぐ」ということで異論は無く、この調整案で進めていってよろしいか。

⇒（参加者）異議無し。

以 上